

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第58期第3四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 株式会社三ツ知

【英訳名】 Mitsuchi Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 村 和 志

【本店の所在の場所】 愛知県春日井市牛山町1203番地

【電話番号】 0568-35-6350(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 村 越 康 幸

【最寄りの連絡場所】 愛知県春日井市牛山町1203番地

【電話番号】 0568-35-6350(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 村 越 康 幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期 連結累計期間	第58期 第3四半期 連結累計期間	第57期
会計期間	自 2018年7月1日 至 2019年3月31日	自 2019年7月1日 至 2020年3月31日	自 2018年7月1日 至 2019年6月30日
売上高 (千円)	10,956,836	10,204,456	14,567,549
経常利益 (千円)	659,442	205,521	668,845
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	466,631	139,872	472,715
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	460,404	155,420	513,273
純資産額 (千円)	8,415,362	8,501,900	8,468,231
総資産額 (千円)	15,696,215	15,741,610	15,535,607
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	184.33	55.25	186.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.6	54.0	54.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	681,872	259,964	798,675
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	349,998	1,054,257	498,409
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	344,856	519,344	446,727
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,071,411	3,707,467	3,965,980

回次	第57期 第3四半期 連結会計期間	第58期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	77.94	10.78

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社三ツ知春日井を当社に吸収合併いたしました。

この結果、2020年3月31日現在では、当社グループは当社及び連結子会社5社により構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引き続き注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では雇用環境に回復基調が見られたものの、米国及び中国の貿易摩擦の長期化の影響等に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による経済活動の停滞等により、先行きは非常に厳しい局面を迎えております。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、自動車メーカーが国内、海外共に一時生産を停止しており、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループでは、経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の第4年目として、株式会社三ツ知及び連結子会社でありました株式会社三ツ知春日井との合併により、今まで以上の業務効率化等を実施し、対処すべき課題の解消及び中期経営計画の達成に取り組んでおります。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症による生産調整による海外向け輸出製品の受注減少の影響等により、すべてのセグメントが減収となり、売上高は102億4百万円（前年同期比6.9%減）となりました。利益面につきましては、減収の影響及び設備投資による製造原価の増加等により、営業利益は1億61百万円（前年同期比72.4%減）となりました。また、経常利益は2億5百万円（前年同期比68.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億39百万円（前年同期比70.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

日本

海外向け受注が減少し、売上高は83億42百万円（前年同期比8.7%減）となりました。利益面につきましても、原価低減活動を行ったものの、減収の影響及び設備投資による経費の増加により、営業利益は1億67百万円（前年同期比57.5%減）となりました。

米国

新規立ち上げの遅れにより得意先からの受注が減少し、売上高は9億14百万円（前年同期比6.5%減）となりました。利益面につきましても、輸入製品の増加及び新規品製造準備のための諸経費の増加、並びに労務費の増加による売上原価の増加等により、8百万円の営業損失（前年同期は51百万円の営業利益）となりました。

タイ

タイからの輸出の減少に伴うタイ国内の自動車生産台数減少の影響等による受注の減少で、売上高は15億3百万円（前年同期比11.9%減）となりました。利益面につきましても、減収の影響により、営業利益は35百万円（前年同期比70.7%減）となりました。

中国

得意先からの受注減少等により、売上高は2億79百万円（前年同期比22.1%減）となりました。一方利益面につきましても、減収により固定費を賄えず、22百万円の営業損失（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億58百万円減少し、37億7百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1億71百万円、減価償却費5億31百万円、売上債権の減少額2億30百万円等による資金増があり、一方で仕入債務の減少額4億53百万円、法人税等の支払額2億7百万円等による資金減により、2億59百万円の収入(前年同期比61.9%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金の払戻による収入2億74百万円、有形固定資産の売却による収入10百万円の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出12億96百万円等による資金減により、10億54百万円の支出(前年同期比201.2%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入14億54百万円の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出5億70百万円、社債の償還による支出2億9百万円、配当金の支払額1億21百万円等による資金減により、5億19百万円の収入(前年同期は3億44百万円の支出)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は17百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月 日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,652,020	2,652,020	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株で あります。
計	2,652,020	2,652,020	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	-	2,652,020	-	405,900	-	602,927

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2019年12月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 120,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,529,400	25,294	-
単元未満株式	普通株式 2,120	-	-
発行済株式総数	2,652,020	-	-
総株主の議決権	-	25,294	-

(注) 単元未満株式には、当社所有の自己株式83株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社三ツ知	愛知県春日井市牛山町1203番地	120,500	-	120,500	4.54
計	-	120,500	-	120,500	4.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,965,980	3,707,467
受取手形及び売掛金	2,240,598	2,037,434
電子記録債権	920,497	902,548
たな卸資産	2,569,766	2,395,054
その他	184,263	332,995
流動資産合計	9,881,105	9,375,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,419,451	1,711,287
機械装置及び運搬具（純額）	1,747,846	2,156,848
土地	1,513,991	1,521,389
リース資産（純額）	78,137	194,898
建設仮勘定	46,238	137,763
その他（純額）	198,179	167,300
有形固定資産合計	5,003,844	5,889,488
無形固定資産		
その他	148,395	129,759
無形固定資産合計	148,395	129,759
投資その他の資産		
投資有価証券	169,398	136,645
その他	333,082	210,436
貸倒引当金	220	220
投資その他の資産合計	502,261	346,862
固定資産合計	5,654,501	6,366,109
資産合計	15,535,607	15,741,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,425,522	845,984
電子記録債務	696,845	824,989
1年内償還予定の社債	209,280	209,280
1年内返済予定の長期借入金	658,362	812,461
リース債務	35,958	46,922
未払法人税等	115,854	21,117
賞与引当金	2,882	81,091
役員賞与引当金	13,985	-
その他	569,410	472,608
流動負債合計	3,728,101	3,314,454
固定負債		
社債	792,520	583,240
長期借入金	2,219,428	2,948,947
リース債務	94,445	192,399
役員退職慰労引当金	55,849	12,497
退職給付に係る負債	78,177	93,724
その他	98,852	94,447
固定負債合計	3,339,273	3,925,256
負債合計	7,067,375	7,239,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	7,303,457	7,321,818
自己株式	133,924	134,164
株主資本合計	8,179,863	8,197,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,980	27,149
繰延ヘッジ損益	-	2,189
為替換算調整勘定	290,348	333,254
その他の包括利益累計額合計	288,368	303,915
純資産合計	8,468,231	8,501,900
負債純資産合計	15,535,607	15,741,610

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	10,956,836	10,204,456
売上原価	8,823,621	8,620,137
売上総利益	2,133,214	1,584,318
販売費及び一般管理費	1,546,715	1,422,322
営業利益	586,499	161,996
営業外収益		
受取利息	5,686	5,382
受取配当金	2,517	2,572
為替差益	-	280
受取補償金	-	21,437
作業くず売却益	19,785	11,907
その他	87,156	38,859
営業外収益合計	115,146	80,440
営業外費用		
支払利息	20,842	24,470
災害による損失	6,174	-
為替差損	154	-
その他	15,031	12,444
営業外費用合計	42,203	36,914
経常利益	659,442	205,521
特別利益		
保険解約返戻金	-	94,491
特別利益合計	-	94,491
特別損失		
投資有価証券評価損	-	6,266
役員退職慰労金	-	122,394
特別損失合計	-	128,661
税金等調整前四半期純利益	659,442	171,351
法人税、住民税及び事業税	179,791	58,790
法人税等調整額	13,018	27,311
法人税等合計	192,810	31,478
四半期純利益	466,631	139,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	466,631	139,872

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	466,631	139,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,049	25,169
繰延ヘッジ損益	-	2,189
為替換算調整勘定	21,822	42,906
その他の包括利益合計	6,227	15,547
四半期包括利益	460,404	155,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460,404	155,420
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	659,442	171,351
減価償却費	456,962	531,609
のれん償却額	43,578	-
賞与引当金の増減額(は減少)	80,720	78,209
役員賞与引当金の増減額(は減少)	2,415	13,985
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	194	14,416
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,520	43,351
固定資産売却損益(は益)	1,535	503
投資有価証券評価損益(は益)	-	6,266
受取利息及び受取配当金	8,204	7,954
保険解約損益(は益)	38,506	100,174
支払利息	20,842	24,470
役員退職慰労金	-	122,394
売上債権の増減額(は増加)	38,015	230,043
たな卸資産の増減額(は増加)	398,518	178,572
未収入金の増減額(は増加)	11,136	62,673
仕入債務の増減額(は減少)	91,188	453,412
未払金の増減額(は減少)	45,310	13,132
未払費用の増減額(は減少)	19,998	26,909
その他	82,514	58,871
小計	789,874	602,629
利息及び配当金の受取額	8,204	7,954
利息の支払額	22,895	26,168
役員退職慰労金の支払額	-	122,394
法人税等の支払額	147,884	207,797
法人税等の還付額	54,573	5,741
営業活動によるキャッシュ・フロー	681,872	259,964

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	381,203	1,296,667
有形固定資産の売却による収入	6,840	10,439
投資有価証券の取得による支出	2,189	2,204
保険積立金の払戻による収入	89,834	274,753
その他	63,280	40,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	349,998	1,054,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	630,000	1,454,130
長期借入金の返済による支出	542,688	570,798
セール・アンド・リースバックによる収入	49,368	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	60,092	33,177
社債の償還による支出	257,280	209,280
自己株式の取得による支出	133	239
配当金の支払額	164,030	121,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,856	519,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,263	16,435
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	18,246	258,513
現金及び現金同等物の期首残高	4,089,657	3,965,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,071,411	1 3,707,467

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社三ツ知春日井は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、当会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において固定資産の有形固定資産のリース資産が119,332千円、流動負債のリース債務が8,715千円、固定負債のリース債務が114,042千円それぞれ増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、外注先でありました豊明樹脂工業有限会社より、プラスチック成型加工に関する損害賠償請求訴訟(損害賠償請求金額50,149千円 訴状受領日 2018年1月23日)を受け、現在係争中であります。

当社としては債務は無いものと考えており、当該訴訟に対して弁護士と協議の上、法廷で適切に対応しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金	4,118,739千円	3,707,467千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	47,328千円	- 千円
現金及び現金同等物	4,071,411千円	3,707,467千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	88,605	35	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金
2019年1月31日 取締役会	普通株式	75,946	30	2018年12月31日	2019年3月8日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月26日 定時株主総会	普通株式	88,603	35	2019年6月30日	2019年9月27日	利益剰余金
2020年1月31日 取締役会	普通株式	32,908	13	2019年12月31日	2020年3月13日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,100,563	970,924	1,526,734	358,614	10,956,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,036,919	7,652	180,231	409	1,225,213
計	9,137,482	978,576	1,706,966	359,023	12,182,049
セグメント利益	393,935	51,639	122,630	4,475	572,681

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	572,681
セグメント間取引消去	13,817
四半期連結損益計算書の営業利益	586,499

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,685,971	908,407	1,330,265	279,812	10,204,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	656,723	6,474	172,971	34	836,203
計	8,342,694	914,881	1,503,236	279,847	11,040,659
セグメント利益又は損失()	167,346	8,477	35,935	22,391	172,413

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,413
セグメント間取引消去	10,416
四半期連結損益計算書の営業利益	161,996

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	184.33円	55.25円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	466,631	139,872
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	466,631	139,872
普通株式の期中平均株式数(株)	2,531,558	2,531,474

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(コミットメントライン契約締結)

当社は、2020年4月30日開催の取締役会において、以下のようにコミットメントライン契約の締結を決議し、同日付で契約を締結いたしました。

契約締結先	株式会社三菱UFJ銀行
契約極度額	10億円
契約締結日	2020年4月30日
契約期間	2020年4月30日～2021年4月28日
資金使途	運転資金
担保の有無	無担保、無保証

2 【その他】

第58期(2019年7月1日から2020年6月30日まで)中間配当については、2020年1月31日開催の取締役会において、2019年12月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行う事を決議いたしました。

配当金の総額	32,908千円
1株当たりの金額	13円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年3月13日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

株式会社三ツ知
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 孫 延 生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加 納 俊 平 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社三ツ知の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社三ツ知及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。